

VF/VE について（日常診療場面より）

高坂泰平・日下部晴奈

【説明】

当院では嚥下障害の疑いのある患者様に対して嚥下造影検査（以下VF）/嚥下内視鏡検査（以下VE）を行い嚥下状況の観察し、検査結果をもとに食事形態や食事姿勢及び嚥下訓練を立案し今後の方針を決定していきます。

嚥下造影検査

バリウムを含んだ食材や水分を X 線透視化で食べていただき、その様子をビデオに記録して嚥下動態を評価します。誤嚥の有無や口腔～食道にかけて観察することができます。

嚥下内視鏡検査

鼻腔ファイバースコープを用いて内視鏡をのど（咽頭）に挿入し嚥下の状態を観察する検査です。唾液や痰の貯留の有無、咽頭内の食物残渣の有無、誤嚥などを評価できます。また、声帯の動きも評価できます。

VF 検査場面



VE 検査場面



VF カンファレンス場面

